報道関係者各位

2026 年 11 月 26 日

コグニザント、AI 活用におけるコスト・品質・成果の統合的な管理を支援する「Cognizant AI Nexus」を発表

～ 自社環境で稼働し、企業の AI 投資を確かな価値創出へと加速する運用基盤を提供 ～

コグニザント株式会社（本社：米国ニュージャージー州、CEO：ラヴィ・クマール S。以下、コグニザント）は、企業の AI 投資をより迅速に、確かなビジネス価値へと転換することを支援する「Cognizant AI Nexus」の提供開始を発表しました。

Cognizant AI Nexus は、複数の AI モデルに対応するモジュール型のオペレーティングレイヤーであり、企業における AI 活用を支える基盤です。AI 関連の支出を計測し、AI の品質を管理するとともに、組織全体にわたる成果を記録・可視化することで、企業の AI 投資をより迅速に、確かなビジネス価値へと転換できるよう支援します。

最先端 AI モデルの性能差が縮まり、価格も低下する中、企業がどの AI モデルを選択するかは、もはや大きな差別化要因ではなくなりつつあります。今問われているのは、企業が AI 投資を効果測定し、その妥当性を説明できる成果へと、いかに迅速に繋げられるかです。

AI への投資が急速に拡大する一方で、それに見合うビジネス価値の実現が追いついていません。このギャップは企業にとって大きな課題である一方、それだけ大きな価値創出の余地が残されていることを意味しています。コグニザントの調査によると、世界の大手企業 2,000 社（Global 2000）全体で、 AI の活用によって今後実現できる可能性がある年間経済価値は、最大 4 兆 7,000 億ドルに上ると推計されています。

企業の AI 活用は実証実験の段階を超えつつあるものの、多くの企業では依然として十分な投資効果を実現できていません。同調査では、Global 2000 の企業リーダーの約 3 分の 2 が、AI による生産性向上の効果を、具体的な数値で示せておらず、4 分の 1 が AI 導入の取り組みを一時停止、または中止したと回答していることが明らかになりました。

また、AI の活用が広がる一方で、関連コストの把握や予算管理が新たな課題となっています。コグニザントが FinOps（クラウドなどのテクノロジー関連支出の管理・最適化）の責任者 250 人を対象に実施した新たな調査では、過去 12 カ月間に AI 関連の支出が予算を上回った組織は 72%に上り、16%の組織では、AI 関連の支出が予算を 25%以上超過していたことが明らかになりました。

コグニザントの CEO であるラヴィ・クマール S は、次のように述べています。

「多くの企業はすでに AI への投資を進めています。今、経営層や財務責任者が求めているのは、AI 投資によってどのような成果が得られているのか、その成果に誰が責任を持つのか、そして投資効果をさらに高めるにはどうすればよいのかという問いに対する明確な答えです。Cognizant AI Nexus は、こうした課題に対して一元的な管理体制のもとで対応し、AI 投資の成果を継続的に改善するための基盤を提供します。」

■Cognizant AI Nexus の 5 つの主要機能

Cognizant AI Nexus は、企業が個別に、あるいは組み合わせて導入できる 5 つの機能を備えています。このうち「Engage」と「Orchestrate」は、業務環境やプロセスを変革する機能です。一方、「Reveal」「Coach」「Route」は、業務における AI のパフォーマンスを管理する機能です。

各機能に期待される主な役割とメリットは、以下のとおりです。

【業務環境・プロセスを変革する機能】

1. Cognizant AI Nexus Engage

エンジニア、アナリスト、ビジネスリーダーに対し、企業固有の知識を活用し、適切な管理のもとで利用できる共通の作業環境を提供します。

安全性を確保したサンドボックス環境で AI と対話しながら、データ分析やコードの生成、意思決定を行うことができます。また、独自のコンテキストとメモリを持ち、継続的に活用できる AI エージェント「AI スペシャリスト」が、業務で成果につながった方法や知見を蓄積し、ほかの業務にも活用できるようにします。

2. Cognizant AI Nexus Orchestrate

エージェント型 AI を活用し、既存の業務プロセスを再設計します。これらのワークフローは、Frontier Certified Engineer が設計し、Frontier Business Operator が運用を担います。コグニザントは 2026 年 6 月にこれらの役割を発表しており、各ワークフローの設計から運用までを通じて、両者が成果に責任を持つ体制を目指しています。

【AI のパフォーマンスを管理する機能】

3. Cognizant AI Nexus Reveal

複数の AI サービスにおける利用状況やコストを、担当者、プロジェクト、成果と関連付けて可視化します。これにより、企業のリーダーは AI の利用予算を管理するとともに、その投資効果を明確に示すことができます。

4. Cognizant AI Nexus Coach

AI を活用した業務の進行に合わせて、その背景情報や進め方、成果を評価します。さらに、成果につながる業務手法を組織全体で共有・標準化し、業務品質の向上を支援します。

5. Cognizant AI Nexus Route

各リクエストの内容に応じて、品質・コスト・制御性のバランスが最適な AI モデルを選択します。最先端の AI モデル、オープンウェイトモデル、小規模言語モデル、自社環境で運用するモデルなど、さまざまな選択肢を活用します。機密性の高い情報を扱う処理は、企業内の環境で実行するよう制御し、すべてのルーティングにポリシーを適用します。また、AI モデルの提供事業者で処理速度の低下や障害が発生した場合には、別の利用可能な AI モデルに処理を切り替えられるよう設計されています。

■AI 活用の成果を継続的に蓄積・改善
Cognizant AI Nexus は、企業が最も効果的な業務プロセスから継続的に価値を生み出せるよう設計されています。実証済みの業務手法を再利用可能な資産として体系化し、チーム間で共有するとともに、AI スペシャリストが活用できるようにします。また、業務を実行するたびに、その知見が蓄積され、次の実行に活かされます。
また、同一の基盤で AI への支出を計測し、品質を監視することで、企業は単位当たりのコスト、品質、処理速度が時間の経過とともにどのように改善しているかを継続的に把握することができます。

■AI エージェントのコスト管理とガバナンスを強化
コグニザントが実施した FinOps 責任者を対象にした調査では、97%の組織が、AI エージェントのセッションにおいて、コストや活動量が想定を超えた経験があると回答しました。また、36%は、その影響が重大であったと回答しています。

Cognizant AI Nexus は、こうした課題に対応するため、AI の信頼性や制御機能を、基盤そのものに組み込む設計を採用しています。各 AI スペシャリストに個別の ID やアクセス権限、メモリが設定され、アクセスできる情報やシステムの範囲は企業側が管理します。すべてのワークフローには完全な監査証跡が記録され、重要な意思決定、コンプライアンス上の確認、顧客に影響するアクションについては、人間による承認プロセスが維持されます。

さらに、Cognizant AI Nexus は企業自身の環境内で稼働するよう設計されているため、企業は AI の稼働に必要なデータ、業務プロセス、組織固有の知識を自社で管理し続けることができます。コグニザントの顧客企業への支援実績からも、こうした企業固有のコンテキストの重要性が明らかになっています。

エージェント型 AI に関する取り組みを通じて、AI モデル自体の能力の限界よりも、企業固有のコンテキストを AI が活用できる状態に整備できていないことが、本番環境への移行を妨げる大きな要因であることが分かっています。

コグニザントは、自社を最初の導入企業『Client Zero』として、Cognizant AI Nexus を顧客企業に提供する前に、自社の業務全体で大規模に運用しています。

Cognizant AI Nexus の詳細については、下記サイトをご覧ください。
https://www.cognizant.com/us/en/services/cognizant-platforms/ai-nexus

■コグニザントについて
コグニザント（NASDAQ: CTSH）は、AI Builder およびテクノロジーサービスプロバイダーとして、お客様にフルスタックの AI ソリューションを構築することで、AI 投資と企業価値を結ぶ架け橋となっています。業界、ビジネスプロセス、エンジニアリングに関する当社の深い専門知識を活かし、組織固有のビジネス環境をテクノロジー・システムに組み込みます。これにより、人間の可能性を最大限に引き出し、確かな成果を実現するとともに、急速に変化する世界においてグローバル企業が常に一歩先を行くための支援を行っています。

詳細については、www.cognizant.ai をご覧いただくか、@cognizant をフォローしてください。

※本リリースは US 本社の Introducing Cognizant AI Nexus: helping enterprises govern the cost, quality and results of AI を翻訳したものです。

コグニザントジャパンの詳細は下記ページをご覧ください。
https://www.cognizant.com/jp/ja/about-cognizant